

幌延町こども議会開催



幌延町議会では、次世代を担う「幌延っ子」が、議会の仕組みや将来について考え質問する体験をすることで、町のことやまちづくりなどの町政に対する理解と関心を深め、町政参画意識の醸成を図るほか、選挙権年齢等の18歳への引き下げ措置に伴い、早い時期から選挙を意識付け議会制民主主義の理解を深めることを目的として、平成30年5月10日（木）に「幌延町こども議会」を開催しました。

子どもの視点で見た幌延町の課題および意見などについては、町行政ならびに教育行政に対する今後の参考とします。

一昨年度から始まり今年度で3度目となった「幌延町こども議会」ですが、今年度は幌延中学校2年生15名と問寒別中学校2年生1名の計16名がこども議員となり、うち前半と後半の議長に2名が選任されました。



こども議員は、こども議会前日までに、各中学校に訪れた町議会議員から議員の種類や、町議会の役割や活動内容、一般質問の仕方などの説明を受けたり、昨年度の開催時の様子をビデオ鑑賞したりして事前学習をしたほか、指導を受けながら一般質問の内容作成に取り組みました。

当日、本番前のリハーサルでは、こども議員は緊張した面持ちで自分の氏名標が付けられた議員席に着席し、議事の進行を入念に確認しました。迎えた本番、実際の町議会と同様に、町長、教育長、副町長以下担当課長や職員、町議会議員が出席する中、傍聴席の保護者に見守られながら実際に壇上に立ち、町について感じていることや考えていることを堂々とした様子で質問し、それに対して町長と教育長が答弁を行いました。自分の質問を終えた後も緊張感を保ちつつ、他の

質問や答弁を真剣に聞いていました。

一般質問の後には、こども議員の代表によって感想が述べられたほか、幌延中学校の澤教頭先生と町議会各委員長が講評を行い、幌延町こども議会は閉会しました。

